

平成 28 年度経過報告
特別養護老人ホームソーレ東根（法人・通所・短期を含む）

行事等の実施状況

月 日	内 容	摘 要
4.1	タイヨウ・たいよう福祉会合同入社・入職式	新卒 3 名
4.17	特養内訪問販売（市内衣料品店から出店）	特養
4 月中旬	花見ドライブ・イオンモール天童外出	特養・通所
4.	県縦断駅伝応援	特養・通所
5.13	職員健康診断	法人
5 月中	新緑ドライブ（寒河江方面）・おやつ作り 花・野菜苗つけ・柏餅づくり	通所 特養
5.16	たいよう福祉会第 27 回理事会・第 13 回評議員会	法人
5.28	歳祝い（温泉町区長、民生児童委員来訪）	特養
6.3	東桜学館高校ボランティア受け入れ	
6.11	社会福祉法人たいよう福祉会全体会（東根市タトウセンター）	法人
6.14	慰問ボランティア（尺八、歌、篠笛）	通所・特養
6.15	山形県老人ホーム輪投げ大会参加（於：県総合運動公園）	特養
6.19	東根一中美術部 ふれあいアートボランティア受け入れ	特養
6.26	たいよう福祉会第 28 回理事会	法人
6.26	たいよう教室（地域住民対象講座／熱中症について）	地域委員会
6 月中	おやつ作り／どら焼き・プリンアラモード 外出レク（大石田千本だんご）・おやつ作り	特養 8・11・12 通所
7.4～5	東根一中職場体験学習受け入れ	通所・特養 3・4
7.6	特養診療所への保健所立ち入り検査	特養診療所
7.9	東根温泉まつり子供みこし来訪	
7.14	特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所 実施指導	特養・短期
7.19	慰問ボランティア（歌、踊り）	通所
7.20～22	山形県集団指導	特養・短期・通所
7.27	消防訓練実施	
7 月中	山形のだし作り、どんどん焼き作り 外出レク（天童／ジェラート・ケーキ）	特養 3・4/11・12 通所
8.8	東根温泉まつり提灯行列来訪	
8.18	東根一中中学生 2 名ボランティア受け入れ	
8 月中	おやつ作り、スイカ割り大会、厨房の天ぷら揚げ実演 夏祭り（かき氷、射的等）（ヨーヨー釣り、菓子作りレク）	3-4/9-10/11-12 通所・短期
9.1・2	防災訓練実施（炊き出し訓練） 緊急連絡網訓練	法人

9.11	たいよう教室（地域住民対象講座／認知症について）	地域委員会
9.15	敬老会慰問ボランティア（歌と踊り）	通所
9.23	慰問ボランティア(歌踊り)	通所
9.25	ソーレ東根秋祭り	ケヴィルツ [®] 東根
9月中	お好み焼き厨房実演、おしるこ作り デイサービス敬老会（賀詞贈呈）	特養 7-8/11-12 通所
10.12	交通安全教室	通所
10.14	ソーレグループ研究発表会（山形ビッグウィング）	
10.17	慰問ボランティア(歌と踊り)	通所
10.21	マイスポーツ東根（カローリング・踊り）	通所
10月中	芋煮会 東根一中きずなの輪コーラス隊来訪	通所・特養 11・12 特養・短期・通所
11.19～20	ソーレ東根文化祭開催	東根全事業所
11.20	たいよう教室（地域住民対象講座／介護予防について）	地域委員会
11.21	たいよう福祉会 第 29 回理事会・第 14 回評議員会	法人
11.23	消防訓練（地域消防団参加）	
11月中	外出レク・紅葉狩り	通所
12.3	慰問ボランティア（歌）	通所
12.10	特養家族会(機能訓練・口腔ケア・栄養体験、交流、寿賀祝品贈呈)	米寿 8 名 白寿 1 名
12.22	慰問ボランティア(踊り)	通所
12.24	慰問ボランティア（ハンドベル演奏、歌、踊り）	通所
12.28	もちつき大会	特養・短期・通所
12月中	クリスマスケーキ作り、忘年会	通所
29年 1.1	正月元旦のあいさつと白酒ふるまい	特養
1.24・31	普通救命講習Ⅱ 1 回目（東根市消防本部）	
1.31	全事業所更新申請	法人
1月中	餃子作り・おしるこ作り 書初め・団子さし	特養 11・12 通所
2.16、19	普通救命講習Ⅱ 2 回目（東根市消防本部）	
2.25	村山そば匠の会慰問	
2月初め	節分行事	通所*特養は中止
3.12	たいよう教室（地域住民対象講座／施設で暮らすこと）	地域委員会
3.13	たいよう福祉会 第 30 回理事会・第 15 回評議員会	法人
3.15	慰問ボランティア（歌と踊り）	通所
3月中	ひな祭り	通所

*各委員会の年間報告は別紙

運営上のまとめ

1 稼働目標に対する反省と課題

① 特別養護老人ホーム

利用者状況 定員 100名 平均稼働率 94.6% 前年度稼働率 88.5% 前年比 6.0ポイント 平均介護度 3.65 入院者数 954名

6月に施設長が代わり、また、職員の慢性的な不足という体制のなかでの、運営ということで、負の連鎖があり、様々な問題を抱え、それが法人全体にも及ぶ大きな課題を内包した1年でした。

7月6日に保健所による特養診療所への立ち入り検査があり、何点かの指摘がありましたが、適切に対応しています。同月14日に特養、ショートに実地指導があり、特養、ショートともに、ユニットリーダー不在のユニットがあり、減算、返金という処置となりましたが、誠実に対応させて頂きました。

10月19日に虐待を疑われる出来事があり、その事を契機として、利用者中心のサービスを提供できるように、内省、課題の明確化、それに対する具体的対策を講じました。職員が余裕を持って業務に専念できるように、ショートを29年2月から休止し、その人員を特養に配置する。また、職員定着のために「5つのポイント」の実施などです。11月30日付で様々な問題を抱えた相談員が退社したため、相談員2名体制を取りましたが、引継がほとんどできない状態での勤務で、フォロー体制は整えましたが十分にカバーできず2名とも退社となりました。その後、事務長と相談員を配置し事務長が相談員を兼務する体制をとり対応しております。死亡等により退去者が多数出ても、おもうように新規入居への働きかけができず、3月に二名入居できましたが、3月末時点で10室の空室となってしまいました。

課題の多い年度となりましたが、それらの出来事を通して各リーダーを中心とした一体感が生まれました。人材定着、ショートの再開、運営の安定化に努力していきます。

② 短期入所

短期入所については、前述したように1月30日をもって休止しました。

12月までは、平均稼働率93%で推移しました。また、大きな事故等もなく経過しました。利用者、ご家族と信頼関係をしっかり構築して、更に、各事業所とも良い関係性のなか、事業運営に携わってくれた職員には感謝しております。その労に報いるため、また、お世話になった利用者、ご家族、各事業所のニーズにしっかりと応えて行けるように、再開に向け努力していきます。

③ 通所介護

4月から12月までは稼働率71.4%と前年に比べ6.7ポイントの減少でした。平均介護度 1.57 要支援比率 15.9%

12月からはショート休止の準備期に入っており、稼働が更に下がりその後も、他事業所のショート利用と合わせてデイを利用するという事で登録人数が減少し、最終的に69.6%まで稼働が下がってしまいました。

利用日を増やしたり、空き情報、ソーレ通信等を活用し、事業所へ働きかけてきましたが、やはりショートと合わせての利用が多く、加え、風邪等の疾病が重なり、稼働率の低下に歯止めをかけることが出来ませんでした。

来期に向け他事業所への研修、営業スケジュールの作成等の準備をし、稼働率アップに向け努力していきます。

2 運営方針に対する反省と課題

具体的なケアの方針

その人らしい生活の実現のために、個別のニーズを探り、サービスに反映できるように努め、利用者お一人ひとりとの信頼関係の構築に努め、落ち着いて、楽しく生活できるように、小さな変化を見逃さず、他職種連携を基本にして、関わらせていただきました。今後も個別のニーズにしっかり対応できるようにスキルアップに努めます。

取組みと目標

24時間シートの作成。利用者お一人ひとりの情報をしっかりと共有し、ケアの統一が図れるシステムを構築してきました。情報の共有がケアの質の向上に、また、事故防止に繋がると考えます。

見取りにおける、利用者、家族の、不安や戸惑いにしっかり添い、それらから解放されるように、他職種連携のもと対応いたしました。

稼働目標と対策

年間稼働率96.6%の達成はできませんでした。一番の原因は退職者が多数でした事。欠員がでて、応募者がいない。また、人材の定着率の低下が挙げられます。

しかし、大きな課題ではありますが、明確になった課題にしっかりと向き合い、課題解決に向け具体的に対策をたて、実行していくことにより道は開けると確信しています。

平成 28 年度事業経過報告

介護付有料老人ホーム

行事等の実施状況

月日	内容	摘要
H28. 4. 13	花見ドライブレク（堂の前公園）	一階（4名参加）
4. 14	花見ドライブレク（天童舞鶴山公園）	一階（5名参加）
4. 17	テラスにて花植え	一階テラス（20名参加）
4. 19	4月誕生会	一階フロア
4. 22	花見ドライブレク（堂の前公園）	二階フロア（6名参加）
4. 25	4月誕生会・プリン作り	二階フロア
5. 8	母の日（釣り大会）	
5. 19	5月誕生会・パンナコッタづくり	一階フロア
5. 24～	音楽療法（安孫子由美先生）月2回開催	二階談話コーナー
6. 11	6月誕生会	二階フロア
6. 11	運営方針発表会	
6. 16	父の日・出前レク	二階フロア
6. 19	6月誕生会・父の日・DVD観賞	一階フロア
6. 30	出前レク（井物）	一階フロア
7. 9	温泉町子ども会子供みこし来訪	玄関
7. 14	県実地指導・有料老人ホーム立入検査	
7. 27	防災訓練（避難誘導・消火・通報）	
7. 28	流しそうめん	玄関（34名参加）
7. 28	7月誕生会	一階フロア
7. 31	民謡お楽しみ会開催	一階フロア
8. 8	温泉町子ども会七夕ちょうちんパレード来訪	玄関
8. 22	8月誕生会	二階フロア
8. 26	8月誕生会・パフェ作り	一階フロア
9. 1～	文化祭作品作り	
9. 1	防災・炊き出し訓練	
9. 14	だしづくり	一階フロア
9. 19	どんどん焼きづくり	一階フロア
9. 23	9月誕生会	二階フロア
9. 25	秋まつり開催	
9. 26	おやつレク（ロールケーキ作り）	一階フロア
10. 14	タイヨウグループ職員研究発表会にて発表	土田・奥山・澁谷・遠藤拓

10. 21	紅葉ドライブレク（東沢公園方面）	5名
10. 24	紅葉ドライブレク（東沢公園方面）	4名
10. 26	10月誕生会	一階フロア
10. 28	10月誕生会	二階フロア
11. 19～20	文化祭開催・出品	特養
11. 23	防災訓練実施	
11. 26	家族会開催（講演：認知症の人と家族の会五十嵐元徳氏）	23家族参加
12. 20	クリスマス会・12月誕生会開催	一階・二階合同
12. 28	もちつき	
1. 2	正月行事（獅子舞等）	
1. 15	だんごさし	
1. 27	1月誕生会・おやつづくり	二階フロア
1. 31	1月誕生会・カレンダー作り	一階フロア
2. 3	節分（豆まき）	
2. 14	バレンタインデー・手作りケーキ	
2. 20	2月誕生会・たこ焼きパーティー	二階フロア
2. 25	そば打ち慰問（村山蕎麦匠の会）	
3. 3	ひなまつり・どら焼きづくり	
3. 16	3月誕生会	一階フロア
3. 17	3月誕生会	二階フロア
3. 30	介護ロボット設置（眠りスキャン）設置	

運営上のまとめ

利用者状況 定員 40名 平均稼働率 93.8%（3/31現在） 平均介護度 1.84

新規入居人数 12名 退居 12名（施設内看取り5名、特養5名・病院 2名）

入院延べ人数 294名

運営状況

平成28年は、4月の年度当初から介護職員が3名育児休業、産後休暇という人数的に厳しい状況でのスタートとなり、特に早番・遅番の人数確保ができず、看護師や施設長、相談員、事務がフロアに入るなどの協力をして対応してきました。8月、10月に2名の産休・育休職員が復帰したものの、保育所の関係等で正職から短時間パート、しかも基本土・日休日との条件での勤務となり、日中の職員数はある程度確保できたものの、特に遅番充足の解消にはいまだ至っておらず、ほぼ毎日施設長、相談員、事務員が遅番でフロアに入っている状況が続いていますが、幸い職種間、フロア間のチームワーク、協力関係も良く、一丸とな

って頑張ってくれていることは大いに評価に値すると思われま。また、介護・看護職員の離職が、年度末に他施設に移った方1名だったことは、誇るべきことであると思ひます。29年度においても対話を重ねて、今以上に働きやすい職場づくりに努めていきたいと考えています。

処遇面では、施設内看取り（5名）の方が多く、医療機関・家族・スタッフで何度も話し合いを重ねてその人その人に合った看取りを実施してきました。また、河北病院緩和ケアの先生の訪問診療、訪問看護、訪問リハを利用しての末期がんの方の看取りをはじめて実施しました。今後も医療的なニーズを持った方や末期がんの方の入居等が考えられるため、多職種連携のいい経験になりました。29年度においては、夜間看護体制加算を算定し、その後内部の体制や様式の整備を充実させて、可能な限り早く看取り加算も算定できるようにしていきます。

稼働面では、年間稼働率93.8%と前年度比で1.4ポイントほど下げてしまいました。入居直前になって家族の都合で急に1ヶ月延期になったり、入居直前に入院して亡くなられた方が出たり、医療依存度の高い方でドクターとの調整に時間がかかった等で、タイムラグが発生してしまったのが主因です。入院者は一日平均0.8人と前年度比で0.2ポイントほど少なくなったことは評価に値することだと思ひますが、29年度はさらに0.3ポイント下げ一日あたり0.5人に減らすことを目標にしたいと思ひます。

事故については107件、ヒヤリはっとは190件となっていますが、6月と7月に転倒による股関節骨折、転倒による頭部裂傷の2件、保険者と県に報告した重大事故が発生しています。今までも再発防止のための事故後のカンファを充実させ、対策を講じてきたところですが、同じ人が複数回同様の事故を起こしている事例も発生していることから、より安全な施設を目指して、29年度はより一層対策とチームアプローチを強化させていきたいと考えています。

7月に入った県の実地指導・有料老人ホーム立入検査においては、運営規程や重要事項説明書の現状に即した改正の指示以外は指摘が無く、概ね良好であるとの講評を頂きました。これに奢ることなく、より高い、入居者やご家族のニーズに即応したケアを目指していかねければならないと考えています。

平成 28 年度事業経過報告

大石田

行事等の実施状況

月日	内容	摘要
28.4.1	入社式	
28.4.10	唱和会慰問	歌・踊り
28.4.17	駒籠祭礼	お神輿・神楽見学
28.5.23	接遇研修	職員 2 名参加
28.5.25	大石田保育園 5 歳児との交流会	お遊戯・プレゼント交換・
28.5.27	運営推進会議	
28.6.5	合同防災訓練	駒籠地区
28.6.9	新庄紫陽花舞踊会慰問	踊り
28.6.11	運営方針発表会	
28.6.22	大石田保育園 4 歳児との交流会	お遊戯・プレゼント交換
28.6.24	ソーレ元気塾	
28.6.30	北村山公立病院意見交換会	職員 2 名参加
28.7.11	駒籠公民館会議	
28.7.20	短期育成プログラム研修	職員 2 名参加
28.7.23	ソーレ元気塾・ソーレ居酒屋	
28.7.29	運営推進会議	
28.8.4	大石田町教育委員会研修受け入れ	大石田中学校教員 1 名
28.8.13	合同夏祭り	
28.8.22	啓発セミナー（ビッグウイング）	職員 1 名参加
28.9.1	防災訓練（炊出し）	
28.9.2	アメシロ駆除	
28.9.18	町内一周駅伝	応援
28.9.25	合同敬老会	駒籠地区
28.9.30	運営推進会議	
28.10.14	合同研究発表会	(株) タイヨウ・福祉会
28.10.15	シルバー人材センターボランティア	体育館清掃
28.10.22	ソーレ元気塾・ソーレ居酒屋	
28.11.1	ケアマネ情報交換会	ケアマネ参加
28.11.25	運営推進会議	
28.11.28	大石田北小学校 6 年生との交流会	合唱・ゲーム
28.11.29	そばの日	大石田そば道楽
28.11	利用者インフルエンザ予防接種	
28.12.11	唱和会慰問	歌・踊り

28.12.18	夜間連絡訓練	
28.12	職員インフルエンザ予防接種	
29.1.29	運営推進会議	
29.2.13	雪まつり雪像作り	駒籠地区と合同
29.3.5	家族会	
29.3.8	拓樹会慰問	日本舞踊
29.3.25	運営推進会議	
5月～11月	クリーン・アップおおいしだ	毎月第一日曜日

運営上のまとめ

年間平均稼働率：95.1%（前年度 97.9%）

年間平均介護度：3.41（前年度 3.56）

新規入所者：7名 退所者：7名（5名看取り、1名病院にて永眠、1名癌末期にて、
家族様希望にて緩和病棟に転院） 入院延べ人数：43名

年間稼働率については、前年度－2.8ポイントという最悪の結果となりました。待機者が居ない状態が続き、退所された方の後にスムーズな入所に繋がらなかった事が原因です。12月には29名満床となり、その後待機者も若干ではありますが確保できました。

平均介護度については、重度の方が退所された後、要介護度3の方のみの入所だった事認定調査にて状態の改善がみられ、要介護度が下がった事が原因です。

入院者が年間を通して43名で済んだのは、職員の早期発見・早期対応が機能したからだと考えます。又、職種間の連携もスムーズに行えていたと思います。この点については、来年度も継続していきます。

4月1日より、2名の新人を採用しましたが、両名共に独り立ちできるまでに成長できました。本人達の努力は勿論の事、指導する側の職員も根気よく頑張ってくれた事には感謝しています。その中で一つ残念だった事は、ベテラン職員2名が3月31日で退職した事です。原因は、「将来に希望が持てない」・「休日が少ない」との理由でした。一番大変な時期に頑張ってくれた方々でした。今後も、このような理由での退職者を出さない為に、職員の待遇改善にも取り組んでいかななくてはならないと考えます。

平成 28 年度事業経過報告

グループホーム

行事等の実施状況

月日	内容	概要
H28.4.22	フロアレク（花見・外食ドライブ）	南ユニット（堂の前）
4.25	フロアレク（花見・外食ドライブ）	北ユニット（徳良湖）
4.27	ホーム内研修（高齢者虐待・身体拘束について）	
5.20	（株）タイヨウ・福祉会合同看護師会議	看護職 1 名参加
5.22	村山産業高校（又新連）ボランティア慰問	
5.23	接遇研修（本部）	介護員・事務員参加
6.11	たいよう福祉会運営方針発表会	
6.23・24	法人安全運転講習	介護員 2 名参加
6.29	運営推進会議	
7.19	避難誘導・消火訓練	入居者・スタッフ参加
7.20	短期育成プログラム（本部）	介護員 1 名参加
7.29	接遇研修（福祉会）	介護員 1 名参加
8.23・30	介護技術研修（福祉会）	
9.1	防災・炊き出し訓練	
9.19	敬老の日お祝い	おすし出前
9.25	たいよう福祉会秋祭り	
9.27	運営推進会議	
10.18	もみじ狩りドライブ	
10.25	外部評価（エールフォーユー）	
11.2	感染症研修会（村山合同庁舎）	
11.10	たいよう福祉会全体会（タントクルセンター）	
11.17	ソーレカフェ	温泉地区 4 名参加
11.19・20	福祉会文化祭	
11.23	避難・通報訓練	
12.9	運営推進会議	
12.22	ホーム大掃除	
12.25	クリスマス会	ボランティア慰問
12.27	餅つき大会	
H29.1.14	団子木さし	
2.3	節分豆まき	
2.21	東根市集団指導	
2.28	運営推進会議	
3.3	ひな祭り	

3.7	東根市実地指導	福祉課
3.28	介護ロボット設置（眠りスキャン）	

運営上のまとめ

利用者状況 定員 18名 平均稼働率 83.9（3/31 現在） 平均介護度 2.34

入居人数 9名 退居 5名（看取り1名、 他施設・病院へ 2名 在宅復帰2名）

入院延べ人数 59名

処遇実績

H28年度は入居者10名からのスタートでした。前期は新しい入居はあっても、退居もあり思うように稼働があがりませんでした。後期は、少ない時間を調整し訪問活動に出掛けたり、以前紹介していただいたケアマネジャーさんに入居後の連絡をする事で、新たに紹介してもらったりと1月には開所後初めて満床となりました。また、周辺症状の悪化や大腿骨頸部骨折での入院はあったが、肺炎など内科的な入院がなく昨年度の201名から大幅に減少しました。

今年度は入居者と一緒に活動することを中心に考え、食事づくりや後片付け、洗濯等役割を持ちながら生活できるようにしました。なかなか男性入居者の活動の場がなかったのですが、掃除の時間を決め職員・入居と一緒にホームを掃除する等、男性入居者にも参加してもらえるようにしました。

また、温泉地区を対象に認知症カフェ（ソーレカフェ）を開催し、地区の方4名の参加がありました。自分自身について、家族の介護について話してもらうことで、とても楽になりましたとの言葉も聞かれました。今後は、地域包括センターとも話をしながら、回数や内容を検討していきたいと思えます。

事故報告 37件 重大事故（東根市に報告1件 転倒による大腿骨頸部骨折）

ヒヤリハット 40件

転倒による事故報告が16件と多く、ついでベッドからのずり落ち・離設の事故がありました。また、確認不足による服薬に関する事故も10件と多く報告がありました。服薬は、身体状況に大きく影響することもあるため、カンファレンスを重ね、事故防止に努めています。ひやりはっと報告は40件と少なく、スタッフ間での情報の共有や気付きの大切さを伝え、ホーム長、リーダーから率先して書くようにしました。事故がその後の生活に大きく影響することもあるため、今後も事故防止に努めていきたい。

平成 28 年度事業経過報告

居宅介護支援事業所

行事等の実施状況

月日	内容	摘要
28.04.01	認定調査委託契約(東根・天童)・介護予防委託契約 (東根包括) 住宅改修意見書	
28.04.14	東根市サービス事業所・ケアマネジャー連絡会議	
28.05.	前年度事業報告書提出	
28.06.20	地域草刈り活動	
28.06.26	介護背支援専門員協会研修会	
28.06.26	たいよう教室 (脱水症について)	
28.07.11	東根市ケアマネジャー連絡会議・サービス事業所研 修会	
28.07.20	地域ケア会議 (佐藤)	
28.07.22	山形県集団指導	
28.07.22	東根市事業所交流会(東根包括主催)	
28.08.01	管理者変更	
28.08.15	職員配置提出	
28.08.29	地域草刈り活動	
28.09.11	たいよう教室 (認知症について)	
28.09.12	集中減算確認報告(減算なし)	
28.09.14	ケアプラン点検 (東根市)	指摘なし
28.09.15	東根市サービス事業所研修会	
28.09.30	情報公表報告	
28.10.18	東根市ケアマネジャー連絡会、研修会	
28.10.26	3市1町地域包括合同研修	
28.11.16	地域包括ケアに係る交流会	
28.11.17	第1回ソーレカフェ	
28.11.20	たいよう教室 (介護予防体操、栄養)	
28.11.23	施設消防訓練	
28.12.13	施設内研修 (認知症)	
28.12.21	認定調査員現任研修	
29.01.19	東根ケアマネジャー連絡会議	
29.01.23	施設内研修 (ハラスメント)	
29.02.29	来年度事業計画作成 ・ マニュアル見直し	
29.03.13	集中減算確認報告 (減算なし)	
29.03.30	東根市総合事業説明会	

運営上のまとめ

介護支援専門員2名体制だが、実質1.5名体制の状況の為、新規受け入れを制限しながらであった。しかし、目標人数を達成、継続することができた。

8月には管理者が変更になり新しい体制になったが、特に混乱なく取組んでいる。

28年度、契約終了となった利用者は12名。そのうち施設等入所は5名で内4名は法人内施設への入所へつなげている。

2月から法人内のショートステイ事業所が休止になったが、これまで利用していた利用者のサービス利用が滞る事がないよう調整を図ることができた。

認定調査委託事業に関しては、1.5人体制という事で、これまで通りの4名の受託は難しく、2名の受託に制限して対応した。

東根市地域包括支援センターからの介護予防プランの委託については、更新認定の結果、要介護から予防へ認定される利用者もいれば、予防から非該当(自立)へ認定され、介護保険から卒業された利用者もあり、毎月平均3名程度であった。

また、東根市でも地域ケア会議が本格的にスタートし、ソーレ東根は7月に参加した。

法人内の活動の参加も継続しており、会議参加のほか、委員会活動として新しく地域住民に向けた介護予防教室(たいよう教室)全4回を実施できた。

その他、東根市主体の「徘徊高齢者声掛け訓練」や「認知症サポーター養成講座」などへの協力も行い、その中で施設やソーレカフェの紹介も行うことができた。

今後は、認知症重度利用者や医療依存度の高い利用者への対応に力を入れることは変わらず、地域の方に顔の見える取り組みを続け、もっと身近な事業所として展開していきたいと考える。

【支援利用者数実績】

〈要介護支援実績〉

新規登録者数 8名

契約終了者 12名(永眠 5・入院入所等 5・予防へ 2)

年間給付管理数 501名

〈委託業務実績〉 (東根市・東根市地域包括支援センター)

認定調査数(東根市) 22名

介護予防計画作成延数(東根市) 42名

以上